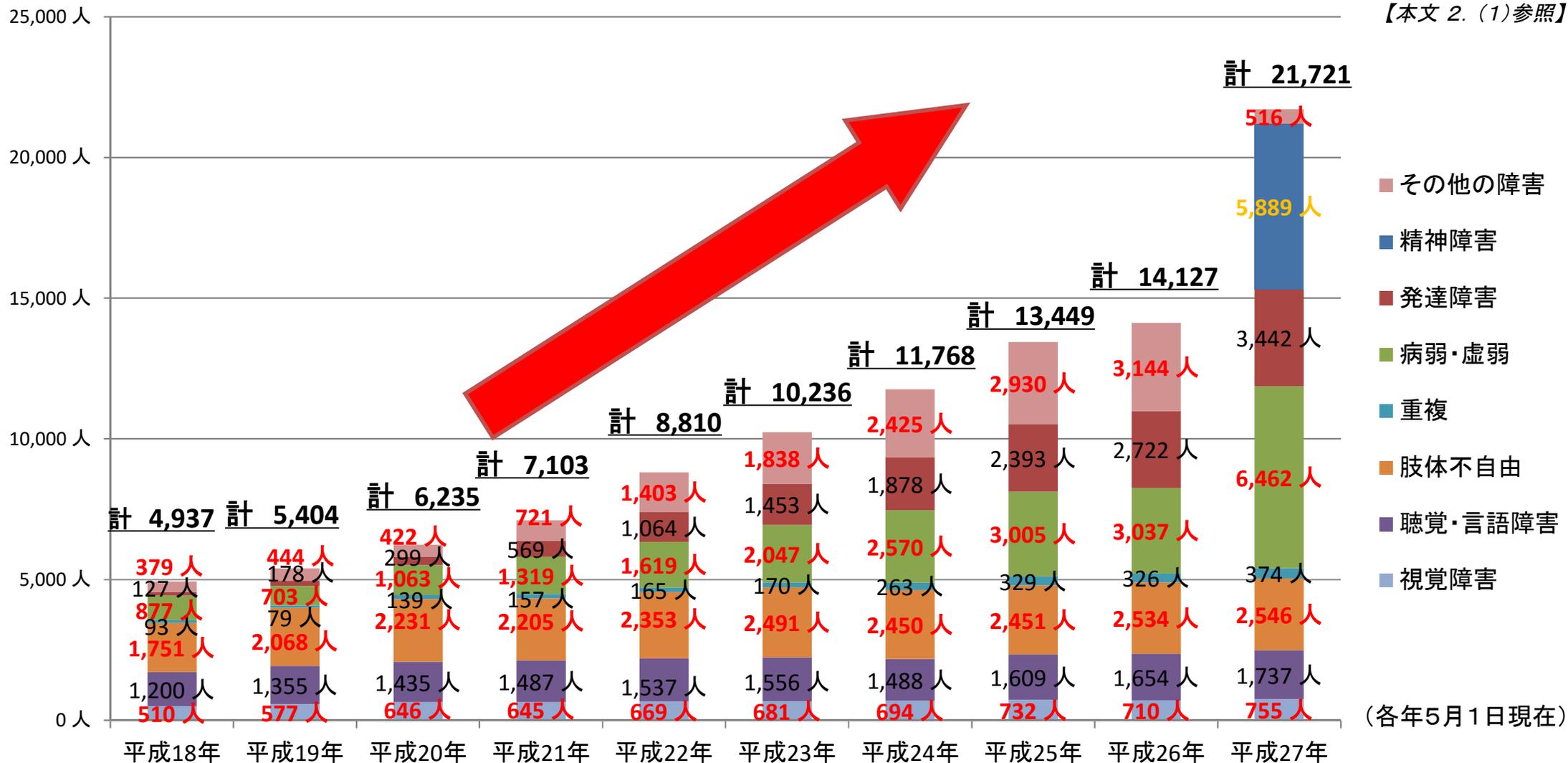


# 障害学生の現状

# 障害学生の在籍者数

【本文 2. (1)参照】



※1 本調査における「障害学生」とは、「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は「健康診断等において障害があることが明らかになった学生」をいう。

※2 「病弱・虚弱」とは、心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう又は直腸、小腸、肝臓等の機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、神経疾患、悪性新生物等、及び身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とするものを含む。

※3 「精神障害」は平成27年度よりカテゴリーとして独立。平成26年度までは「その他」に含む。(平成24年度から「その他」の内訳を調査(平成26年度の「その他」3,144人中、精神疾患・精神障害は2,826人、慢性疾患・機能障害は247人、知的障害46人、それ以外25人))

※4 グラフの数値には、「大学」「短期大学」「高等専門学校」における人数を含む。ただし、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含まない。

# 障害学生の在籍者数(内訳)

【本文 2. (1)参照】

学校種別	学生数			障害学生数			障害学生在籍率(※1)		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
<b>全体</b>	3,213,518	3,189,744	3,185,767	13,449	14,127	21,721	0.42 %	0.44 %	0.68 %
大学	2,991,385	2,975,589	2,977,704	12,488	13,045	19,591	0.42 %	0.44 %	0.66 %
短期大学	164,133	156,544	150,493	515	535	1,246	0.31 %	0.34 %	0.83 %
高等専門学校	58,000	57,611	57,570	446	547	884	0.77 %	0.95 %	1.54 %
学校種別	支援障害学生数(※2)			支援障害学生在籍率			障害学生支援率(※3)		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
<b>全体</b>	7,046	7,482	11,507	0.22 %	0.23 %	0.36 %	52.4 %	53.0 %	53.0 %
大学	6,596	6,943	10,554	0.22 %	0.23 %	0.35 %	52.8 %	53.2 %	53.9 %
短期大学	232	266	525	0.14 %	0.17 %	0.35 %	45.0 %	49.7 %	42.1 %
高等専門学校	218	273	428	0.38 %	0.47 %	0.74 %	48.9 %	49.9 %	48.4 %

※1 障害学生在籍率: 障害学生数 ÷ 学生数 × 100(%)

(平成27年5月1日現在)

※2 支援障害学生: 学校に支援の申し出があり、かつ、何らかの支援を行っている者

※3 障害学生支援率: 支援障害学生数 ÷ 障害学生数 × 100(%)

# 障害学生の在籍学校数

【本文 2. (1)参照】

学校種別	学校数			障害学生在籍学校数			障害学生在籍率(※1)		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
<b>全体</b>	1,190	1,185	1,182	811	833	880	68.2 %	70.3 %	74.5 %
大学	780	780	782	603	619	650	77.3 %	79.4 %	83.1 %
短期大学	353	348	343	155	160	177	43.9 %	46.0 %	51.6 %
高等専門学校	57	57	57	53	54	53	93.0 %	94.7 %	93.0 %
学校種別	支援障害学生在籍学校数			支援障害学生在籍率			障害学生支援率(※2)		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
<b>全体</b>	664	700	757	55.8 %	59.1 %	64.0 %	81.9 %	84.0 %	86.0 %
大学	513	545	583	65.8 %	69.9 %	74.6 %	85.1 %	88.0 %	89.7 %
短期大学	106	110	126	30.0 %	31.6 %	36.7 %	68.4 %	68.8 %	71.2 %
高等専門学校	45	45	48	78.9 %	78.9 %	84.2 %	84.9 %	83.3 %	90.6 %

※1 障害学生在籍率: 障害学生在籍学校数 ÷ 学校数 × 100 (%)

(平成27年5月1日現在)

※2 障害学生支援率: 支援障害学生在籍学校数 ÷ 障害学生在籍学校数 × 100 (%)

# 支援の実施状況(大学・短期大学・高等専門学校数) ①

【本文 2. (2)① 参照】

## ■障害学生(全ての障害種(※1))への授業支援及び授業以外の支援の実施状況

区分		実施校数			実施率(※2)			
		平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年	
授業支援	<b>実施校数</b> (なんらかの授業支援を行っている と回答した大学等が回答)	621	639	686	52.2 %	53.9 %	58.0 %	
	主な支援内容別	教室内座席配慮	367	381	416	30.8 %	32.2 %	35.2 %
		配慮依頼文書の配布(※3)	—	—	390	—	—	33.0 %
		実技・実習配慮	297	307	306	25.0 %	25.9 %	25.9 %
授業以外の支援	<b>実施校数</b> (なんらかの授業以外の支援を行っ ていると回答した大学等が回答)	539	567	619	45.3 %	47.8 %	52.4 %	
	主な支援内容別	専門家によるカウンセリング	275	302	386	23.1%	25.5%	32.7 %
		休憩室・治療室の確保等 ( )は、休憩室のみの調査	(181)	(204)	253	(15.2%)	(17.2%)	21.4 %
		対人関係配慮(※3)	—	—	237	—	—	20.1%

※1 視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害、精神障害、その他の障害

(各年5月1日現在)

※2 実施校数÷各年回答校数×100(%)

※3 平成27年度から項目を追加

# 支援の実施状況(大学・短期大学・高等専門学校数) ②

【本文 2. (2)③ 参照】

## ■発達障害のある学生または発達障害のあることが推察される学生への授業支援及び授業以外の支援の実施状況

区分		実施校数			実施率(※1)		
		平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
発達障害のある学生または発達障害のあることが推察される学生に支援を行っている大学等数 (発達障害学生が1人以上在籍していると回答した大学が回答)		526	560	602	44.2 %	47.3 %	50.9 %
授業支援	配慮依頼文書の配布(※2)	—	—	246	—	—	20.8 %
	学習指導(※3)	276	400	181	23.1%	33.8%	15.3 %
	履修支援(※3)			180			15.2 %
授業以外の支援	専門家によるカウンセリング	281	371	392	23.6%	31.3%	33.2 %
	対人関係配慮(※4)	225	335	270	18.9%	28.3%	22.8 %
	自己管理指導(※4)			231			19.5 %
	居場所の確保(※2)	—	—	198	—	—	16.8 %

※1 実施校数÷各年回答校数×100(%)

(各年5月1日現在)

※2 平成27年度から項目を追加

※3・4 平成27年度調査において項目を分割

# 障害のある生徒の受入に関する配慮及び入学者数

【本文 2. (3)参照】

## ■障害のある受験者・入学者数

区分	平成25年	平成26年	平成27年
障害のある入学者数	2,762	2,945	1,658
受験上の配慮実施	784	793	891
障害のある受験者数	4,812	5,259	3,988
受験上の配慮実施	2,742	2,907	3,072

(各年5月1日現在)

## ■入学者選抜において実施可能な配慮

区分	実施可能校数			全学校中の比率(※)		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成25年	平成26年	平成27年
車椅子の持参使用	904	1,006	937	76.0 %	84.9 %	79.3 %
松葉杖の持参使用	911	990	937	76.6 %	83.5 %	79.3 %
別室を設定	886	963	898	74.5 %	81.3 %	76.0 %
試験場への車での入構許可	864	960	889	72.6 %	81.0 %	75.2 %
トイレに近接する試験室に指定	808	898	856	67.9 %	75.8 %	72.4 %
窓側の明るい席の指定	784	868	847	65.9 %	73.2 %	71.7 %
補聴器の持参使用	814	901	844	68.4 %	76.0 %	71.4 %

※ 実施可能校数 ÷ 各年回答校数 × 100(%)

(各年5月1日現在)

# 特別支援学校高等部からの進学状況

## ■特別支援学校高等部からの進学者数

【本文 2. (4)参照】

区分	卒業・進学者数			進学率(※)		
	平成26年 3月卒業者	平成27年 3月卒業者	平成28年 3月卒業者	平成26年 3月卒業者	平成27年 3月卒業者	平成28年 3月卒業者
特別支援学校高等部の卒業生数	19,576	20,532	20,882	—	—	—
大学への進学者数	199	198	207	1.0 %	1.0 %	1.0 %
短期大学への進学者数	14	13	11	0.1 %	0.1 %	0.1 %
大学・短期大学の通信教育部への進学者数	3	8	8	0.0 %	0.0 %	0.0 %
計(A)	216	219	226	1.1 %	1.1 %	1.1 %

※ 進学者数÷特別支援学校高等部の卒業生数×100(%)

(各年5月1日現在)

## ■大学、短期大学、大学・短期大学の通信教育部への障害種別進学者数

区分	進学者数			全障害種中の比率(※)		
	平成26年 3月卒業者	平成27年 3月卒業者	平成28年 3月卒業者	平成26年 3月卒業者	平成27年 3月卒業者	平成28年 3月卒業者
視覚障害	39	42	39	18.1 %	19.2 %	17.3 %
聴覚障害	101	99	114	46.8 %	45.2 %	50.4 %
知的障害	4	4	2	1.9 %	1.8 %	0.9 %
肢体不自由	42	49	47	19.4 %	22.4 %	20.8 %
病弱・身体虚弱	30	25	24	13.9 %	11.4 %	10.6 %

※ 各障害種別進学者数÷大学等への進学者数(A)×100(%)

(各年5月1日現在)

(出典:平成26～28年度学校基本調査(文部科学省))

# 障害学生の卒業後の進路

【本文 2. (5)参照】

区分	障害学生数数			卒業の障害学生数中の比率(※2)		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
最高年次在籍障害学生数(※1) (各年度5月1日現在)	2,480	2,885	4,608	—	—	—
卒業した障害学生数 (各年度3月31日現在)	1,881	2,122	2,930	—	—	—
進学者数	247	270	349	13.1 %	12.7 %	11.9 %
全就職者数	947	1,082	1,477	50.3 %	51.0 %	50.4 %
就職者数	919	1,061	1,470	48.9 %	50.0 %	50.2 %
進学者のうち、すでに就職している者	28	21	7	1.5 %	1.0 %	0.2 %

※1 全大学等のうち、各年5月1日現在、通学制の最高年次に在籍していた障害学生数  
最高年次

(各年5月1日現在)

大学……4年次または6年次(4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)

短期大学……2年次または3年次(2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)

高等専門学校……5年次

※2 各進学・就職者数÷卒業した障害学生数×100(%)

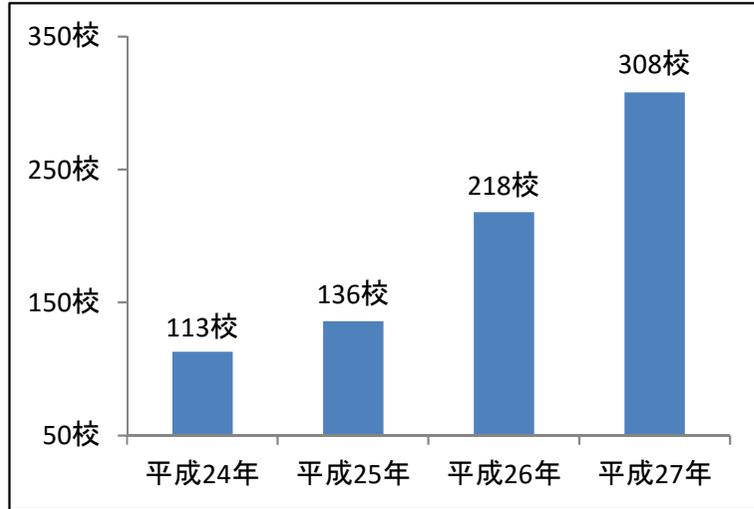
# 第一次まとめにおいて関係機関が取り組むべきとされた事項の現在までの取組状況

## 短期的課題

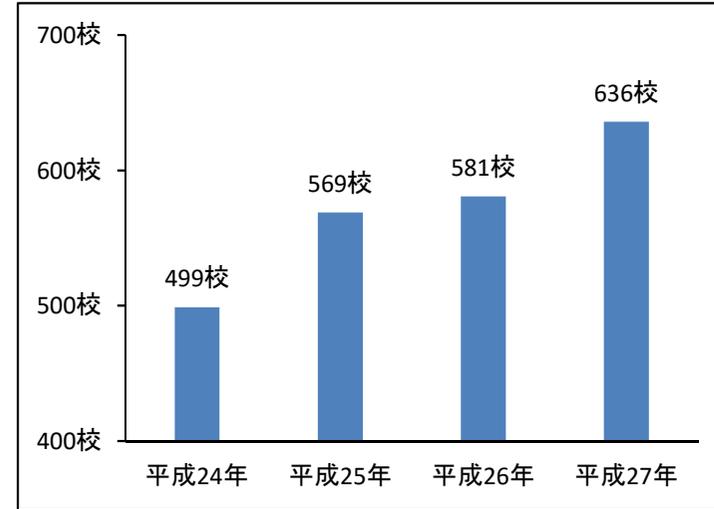
【本文 3. (1)参照】

### ①情報公開の状況

■障害学生支援に関するホームページを公開している学校数(国公私)

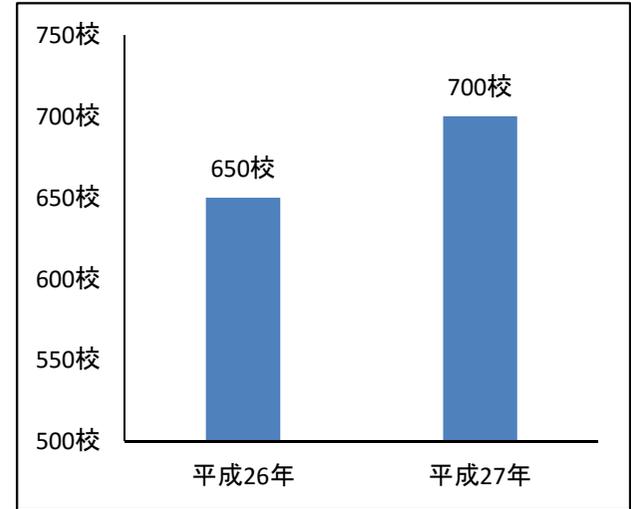


■入学者選抜において障害を理由とする配慮について入試要項及びホームページに記載した大学等



### ②窓口の設置

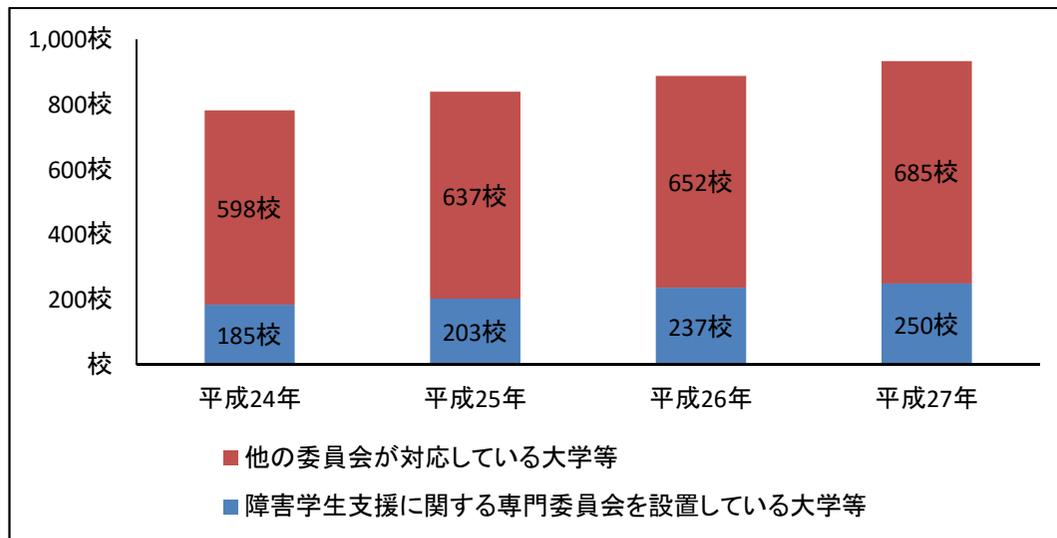
■障害学生による支援の申し出等の相談を受け付ける窓口を設置している大学等数



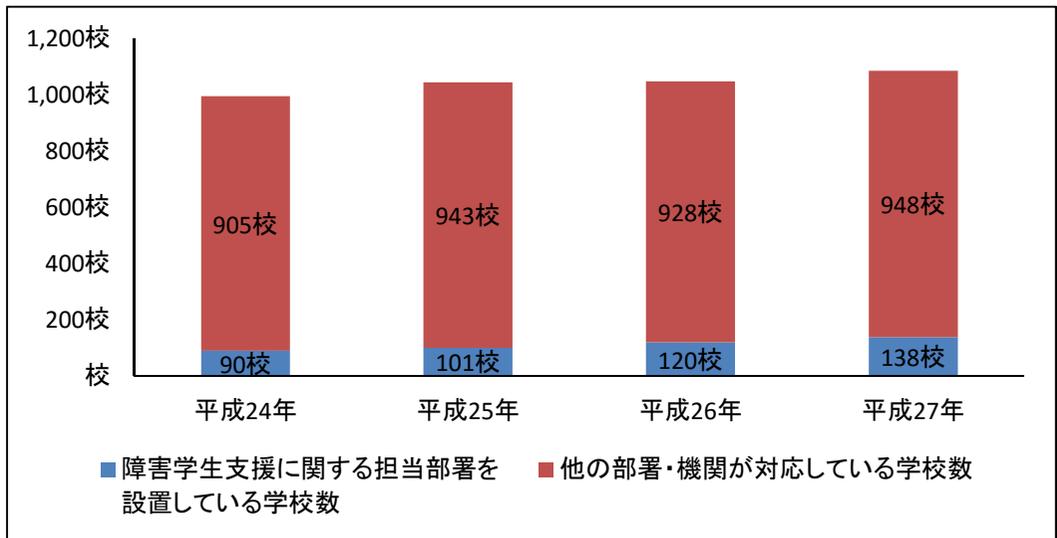
※平成26年度より項目追加

### ③体制の整備(委員会、支援部署、施設・設備等)

■委員会の設置状況



■担当部署の設置状況



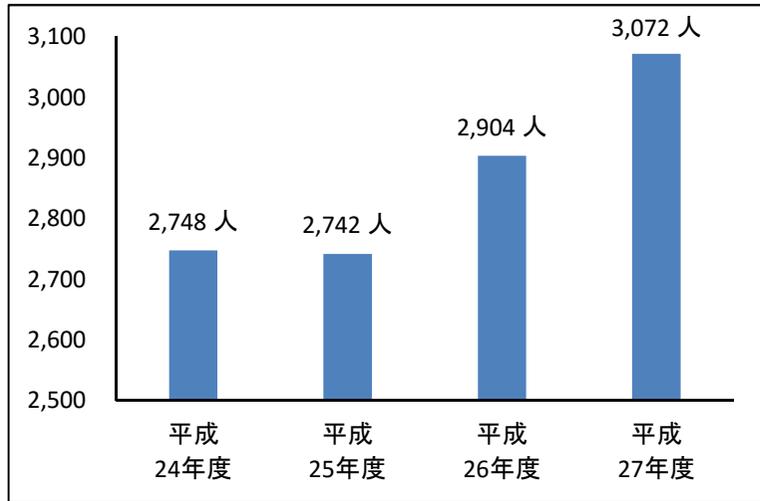
# 第一次まとめにおいて関係機関が取り組むべきとされた事項の現在までの取組状況

## 中長期的課題

【本文 3. (2)参照】

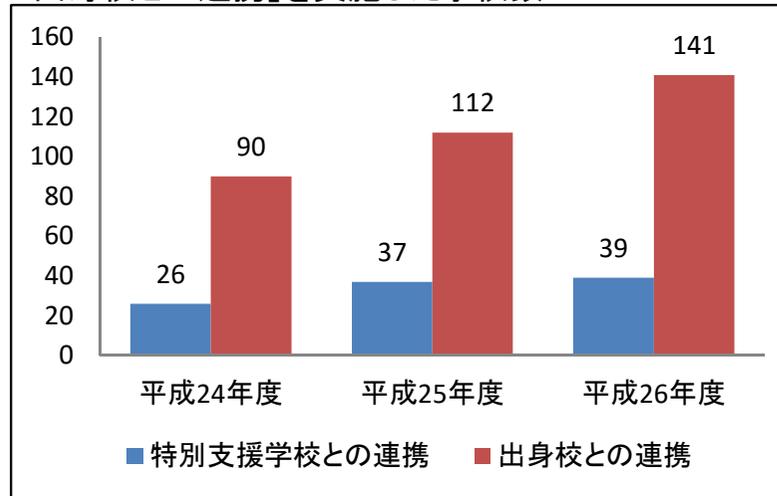
### ①大学入試の改善

■入試において受験時に特別措置を行った受験者数



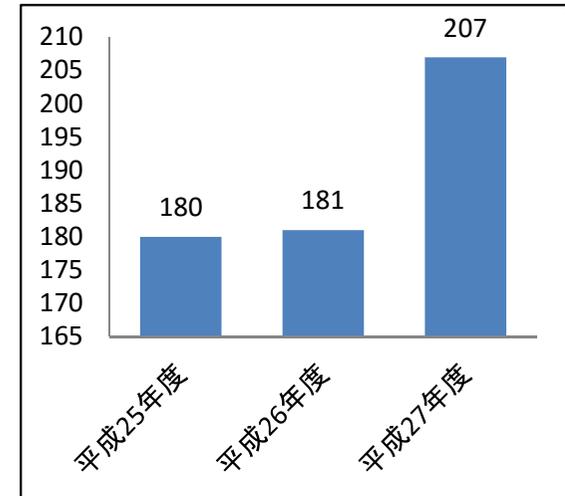
### ②高校及び特別支援学校と大学等との接続の円滑化

■授業以外の支援として「特別支援学校との連携」、「出身校との連携」を実施した学校数



### ③通学上の困難の改善

■通学支援(自動車通学の許可、専用駐車場の確保等)実施校数

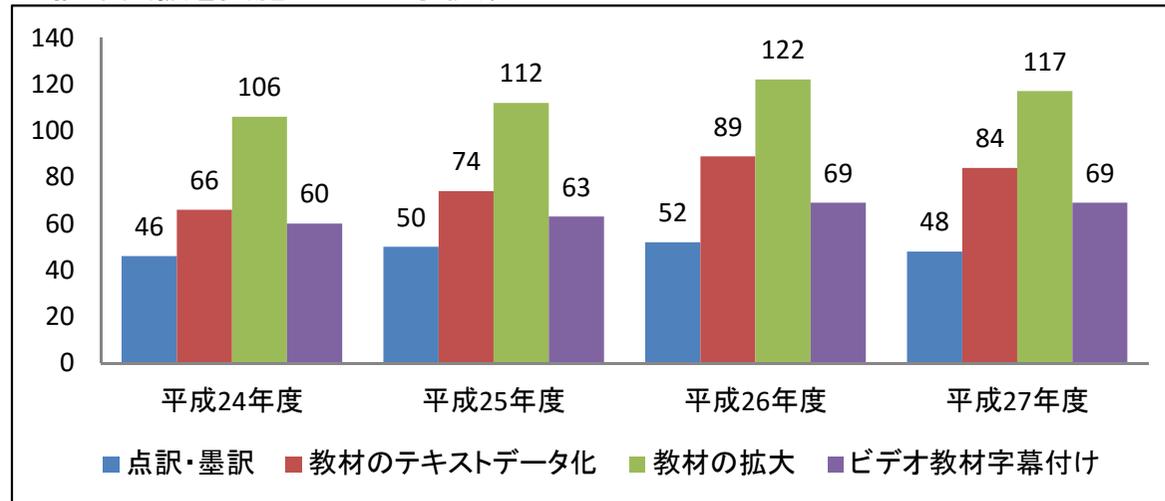


※平成27年度調査では、他項目(「個別支援情報の収集」)に統合。

※平成25年度調査より項目追加

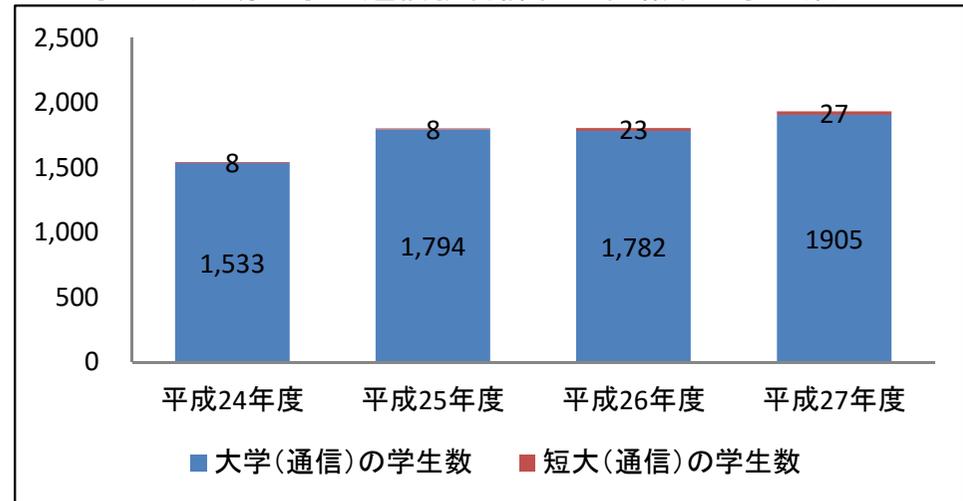
### ④教材の確保

■授業支援を実施している学校数



### ⑤通信教育の活用

■大学又は短期大学の通信教育課程に在籍する学生数



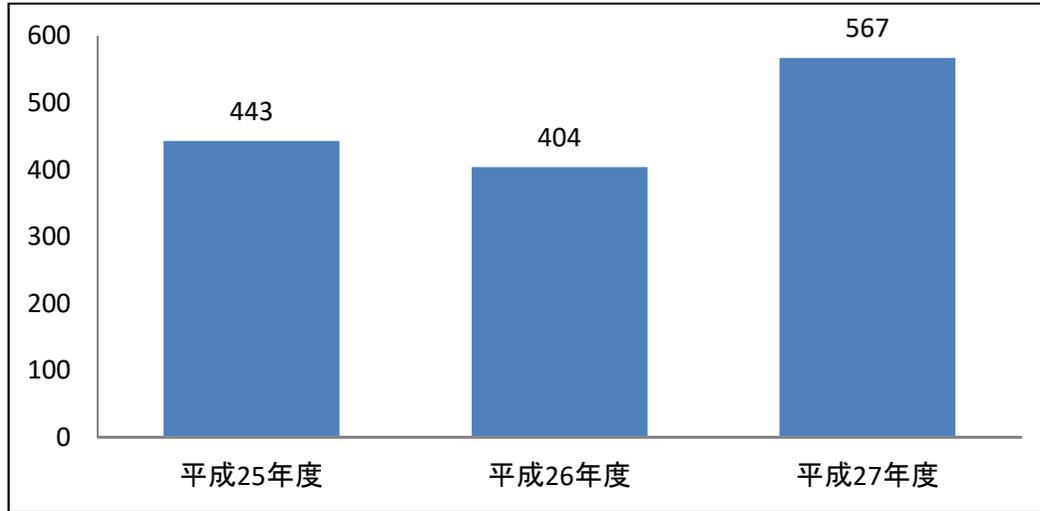
# 第一次まとめにおいて関係機関が取り組むべきとされた事項の現在までの取組状況

## 中長期的課題

【本文 3. (2)参照】

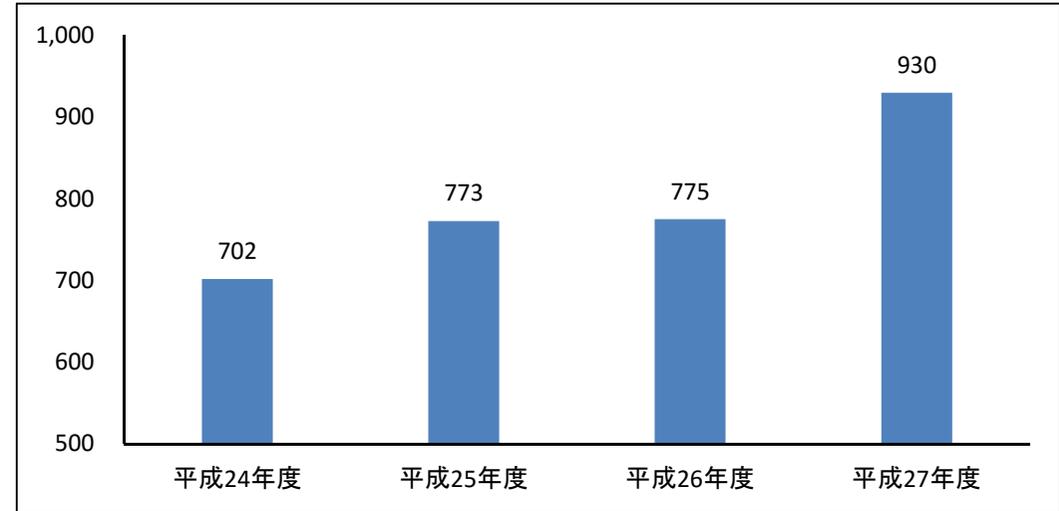
### ⑥就職支援等

■進路指導・就職支援等を実施する大学数

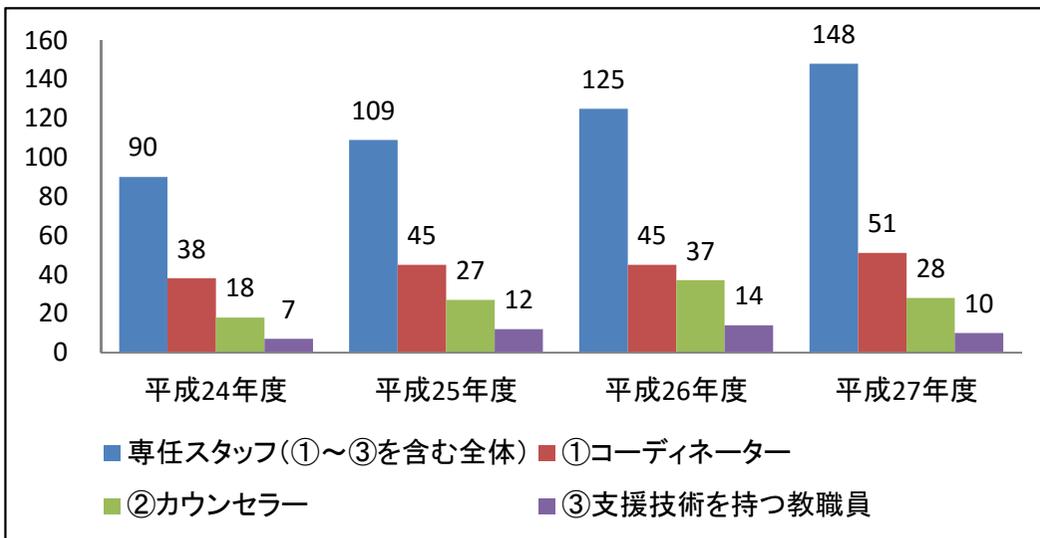


### ⑦専門人材の養成

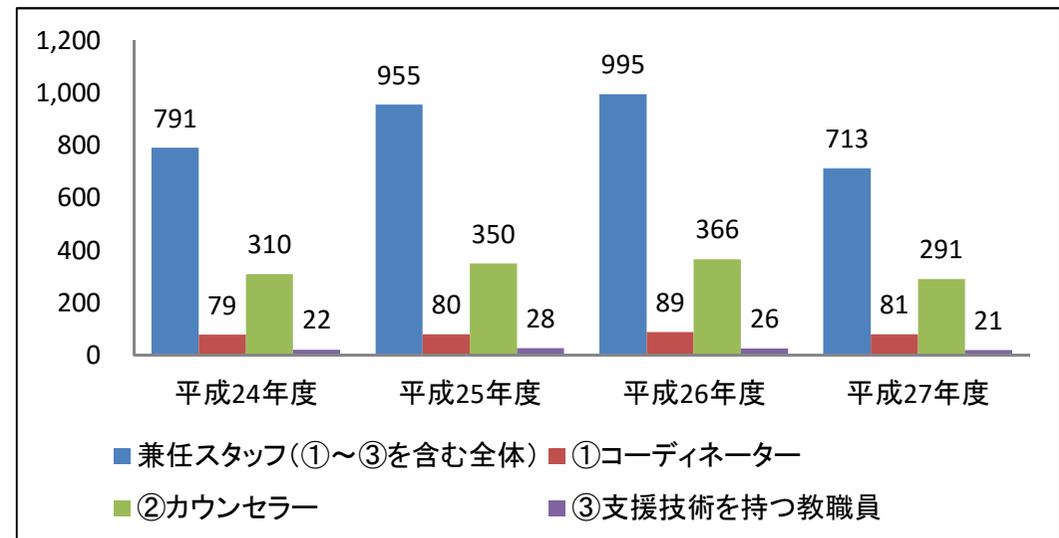
■障害学生支援に関わる研修・啓蒙活動を実施した学校数



■障害学生在籍校のうち、専任スタッフを配置している学校数



■障害学生在籍校のうち、兼任スタッフを配置している学校数



※ 支援技術を持つ教職員(例): 点訳者、手話通訳者等

### ⑨財政支援

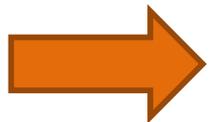
#### ○ 国立大学法人運営費交付金(一般運営費交付金)

平成25年度から、**障害者向け情報発信促進等経費**として、既に障害のある学生への支援を**専門的に担当する部署を設置し、専属の教職員を配置している大学**に対する**教員経費を計上**。

(措置実績・予定)	平成25年度	6大学
	平成26年度	18大学 (+12大学)
	平成27年度	25大学 (+ 7大学)
	平成28年度	44大学 (+19大学)
	平成29年度	56大学 (+12大学) 予定

#### ○ 私立大学等経常費補助金(一般補助)

平成25年度から、**障害学生の受入れや修学支援等に積極的に取り組んでいる私立大学等**に対して、これまで講じてきた**私学助成における支援を拡充**。



平成29年度から、**第二次まとめに記載の提案内容を踏まえて「社会で活躍する障害学生支援センター形成事業(仮称)」を開始予定**。